

令和4年度

# 決算報告書

第19期事業年度

自 令和4年4月 1日  
至 令和5年3月31日

国立大学法人 筑波大学

# 令和4事業年度 決算報告書

国立大学法人筑波大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	35,613	36,281	669	(注1)
うち補正予算による追加	—	557	557	
施設整備費補助金	3,653	2,840	△813	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	2,714	5,645	2,932	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	58	58	—	
自己収入	51,634	50,048	△1,586	
授業料、入学料及び検定料収入	8,985	9,021	36	
附属病院収入	38,396	37,718	△678	(注4)
財産処分収入	2,597	1,348	△1,248	(注5)
雑収入	1,656	1,961	305	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	12,182	15,660	3,478	(注7)
引当金取崩	846	785	△61	
長期借入金収入	5,611	5,316	△295	(注8)
貸付回収金	7	2	△5	
目的積立金取崩	—	1,007	1,007	(注9)
引当特定資産取崩	—	—	—	
計	112,317	117,644	5,326	
支 出				
業務費	87,485	84,037	△3,447	(注10)
教育研究経費	48,524	45,922	△2,602	
うち災害復旧事業	—	13	13	
うち教育研究基盤維持事業	—	544	544	
診療経費	38,961	38,116	△845	
施設整備費	9,322	9,706	384	(注11)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	2,426	2,879	453	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	12,182	12,469	287	(注13)
貸付金	7	4	△3	
長期借入金償還金	248	342	94	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	649	387	△262	(注14)
計	112,317	109,823	△2,495	
収入－支出	—	7,821	7,821	

- (注1) 運営費交付金については、追加予算の交付などにより、予算額に比して決算額が669百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、一部事業の翌年度繰越により、予算額に比して決算額が813百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、新型コロナウイルス感染症に関する補助金などの獲得により、予算額に比して決算額が2,932百万円多額となっています。また、本収入には、授業料等減免費交付金277百万円が含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 附属病院収入については、予算額に比して、手術件数及び外来患者数者の増などにより505百万円の増加となりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として診療機能を一部制限したことなどの影響により1,183百万円の減少となり、決算額が678百万円少額となっています。
- (注5) 財産処分収入については、事業計画の見直しにより、予算額に比して決算額が1,248百万円少額となっています。
- (注6) 雑収入については、寄宿料収入などの増加により、予算額に比して決算額が305百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、積極的に資金の獲得に努めたことなどにより、予算額に比して決算額が3,478百万円多額となっています。
- (注8) 長期借入金収入については、一部事業の翌年度繰越などにより、予算額に比して決算額が295百万円少額となっています。
- (注9) 目的積立金取崩については、退職手当及び病院再開発整備事業などにより、予算額に比して決算額が1,007百万円多額となっています。
- (注10) 業務費については、一部事業の翌年度繰越などにより、予算額に比して決算額が3,447百万円少額となっています。
- (注11) 施設整備費については、事業計画の見直しにより、予算額に比して決算額が384百万円多額となっています。
- (注12) 補助金等については、予算段階では予定していなかった国からの補助金等の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が453百万円多額となっています。
- (注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、積極的に資金の獲得に努めたことなどにより、予算額に比して決算額が287百万円多額となっています。
- (注14) 大学改革支援・学位授与機構施設費納付金については、職員宿舍跡地売払い収入が予算段階の見込みより減少したことにより、予算額に比して決算額が262百万円少額となっています。